表題：麦の分げつ肥と土入れについて

（1月12日配信）

豊肥振興局からのお知らせです。

収量向上のため、分げつ肥を4葉期頃に施用しましょう。

分げつ肥の施用は、穂数の確保に有効です。

施用量は窒素成分で2kg/10a（硫安の場合は10kg/10a）です。

ビール麦は窒素成分で3kg/10a（硫安の場合は15kg/10a）です。本当は暦には16-0-16：20kgで記載されているので統一するべきだった

また、分げつ肥を施用した後は、追肥の効果を高めるためにも土入れを行いましょう。

土入れは除草、幼穂保護、無効分げつ抑制、倒伏防止に効果があり、排水も強化できます。

茎立ち期までに２回程度実施しましょう。

ただし、降雨などで圃場が湿っている場合は実施を見合わせましょう。

大分県豊肥振興局

TEL 0974-63-1301